



日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

PA 5136 US
B8K13
(703) 205-8000
2091-0310 P
New
2123104
IIDA ut ad

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて1061
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office.

出 願 年 月 日 2 0 0 3 年 2 月 2 4 日
Date of Application:

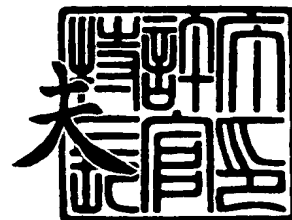
出 願 番 号 特 願 2 0 0 3 - 0 4 6 0 1 9
Application Number:
[ST. 10/C]: [J P 2 0 0 3 - 0 4 6 0 1 9]

出 願 人 富士写真フイルム株式会社
Applicant(s):

2 0 0 3 年 1 0 月 6 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今 井 康 夫



【書類名】 特許願

【整理番号】 P27418J

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04N 5/225

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県足柄上郡開成町宮台 7 9 8 番地 富士写真フイルム株式会社内

【氏名】 飯田 孝之

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県足柄上郡開成町宮台 7 9 8 番地 富士写真フイルム株式会社内

【氏名】 榎本 淳

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県足柄上郡開成町宮台 7 9 8 番地 富士写真フイルム株式会社内

【氏名】 山口 博司

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県足柄上郡開成町宮台 7 9 8 番地 富士写真フイルム株式会社内

【氏名】 篠原 衛

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県足柄上郡開成町宮台 7 9 8 番地 富士写真フイルム株式会社内

【氏名】 中村 洋一

【特許出願人】

【識別番号】 000005201

【氏名又は名称】 富士写真フイルム株式会社

**【代理人】****【識別番号】** 100073184**【弁理士】****【氏名又は名称】** 柳田 征史**【選任した代理人】****【識別番号】** 100090468**【弁理士】****【氏名又は名称】** 佐久間 剛**【手数料の表示】****【予納台帳番号】** 008969**【納付金額】** 21,000円**【提出物件の目録】****【物件名】** 明細書 1**【物件名】** 図面 1**【物件名】** 要約書 1**【包括委任状番号】** 9814441**【プルーフの要否】** 要

【書類名】 明細書
【発明の名称】 画像管理システム
【特許請求の範囲】

【請求項 1】 被写体が所持する第 1 の通信手段から送信される該被写体を特定する識別情報を受信する第 2 の通信手段、該被写体を撮影することにより該被写体の画像を表す第 1 の画像データを取得する定点に設置された撮影手段、および前記第 2 の通信手段が受信した前記識別情報と、前記第 1 の画像データの撮影日時を表す撮影日時情報と、前記撮影手段の設置場所を表す設置場所情報と、前記第 1 の画像データとを出力する第 1 の出力手段を有する複数の撮影システムと、

前記被写体が所持する前記第 1 の通信手段から送信される前記識別情報を受信する第 3 の通信手段、前記被写体が所持する撮像装置が取得した、撮影日時を表す撮影日時情報が付与された第 2 の画像データを取得する画像取得手段、および前記第 3 の通信手段が受信した前記識別情報と、前記第 2 の画像データとを出力する第 2 の出力手段を有する少なくとも 1 つのカメラ画像取得システムと、

前記複数の撮影システムおよび前記カメラ画像取得システムと接続され、該複数のシステムのそれぞれから出力された前記第 1 の画像データを前記第 2 の通信手段が受信した前記識別情報、前記撮影日時情報および前記設置場所情報と関連付けて記憶するとともに、前記カメラ画像取得システムから送信された前記第 2 の画像データを前記第 3 の通信手段が受信した前記識別情報と関連付けて記憶する記憶手段と、

前記第 1 および前記第 2 の画像データを前記識別情報毎に分類して管理する管理手段とを備えたことを特徴とする画像管理システム。

【請求項 2】 前記管理手段は、前記分類された前記第 1 の画像データに関連付けられた前記撮影日時情報および前記分類された前記第 2 の画像データに関連付けられた前記撮影日時情報に基づいて、撮影日時順に前記第 1 および前記第 2 の画像データをソートして管理する手段であることを特徴とする請求項 1 記載の画像管理システム。

【請求項 3】 前記管理手段は、前記ソートされた前記第 2 の画像データに

前記撮影日時が前後に隣接する少なくとも2つの前記第1の画像データに関連付けられた前記設置場所情報に基づいて、前記ソートされた前記第2の画像データの撮影場所を推定して推定撮影場所情報を取得し、該推定撮影場所情報を前記第2の画像データと関連付けて管理する手段であることを特徴とする請求項2記載の画像管理システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、テーマパーク等において定点に設置されたカメラにより取得した画像データを保管管理する画像管理システムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】

近年、テーマパーク等において、アトラクション内に定点カメラを設置して入場者を被写体として撮影を行い、撮影により得られた画像データをプリント出力して得られたプリントを入場者に渡すというプリントシステムが提案されている。このようなプリントシステムにおいては、アトラクション毎に入場者にプリントが渡されるため、入場者はプリントが出来上がるまでアトラクション毎に待つ煩わしさがある。

【0003】

このため、入場者を特定するためのID情報を記録した無線ICカードのような無線タグを入場者に渡し、テーマパーク内に複数設置された定点カメラにより撮影を行うシステムが提案されている（特許文献1参照）。このシステムにおいては、撮影時にID情報を無線タグから定点カメラとともに設置された通信装置に送信し、撮影により得られた画像データとID情報とを関連付けて画像サーバに保管している。このため、入場者は後日画像サーバにアクセスし、ID情報に基づいて画像データを検索することにより、テーマパーク内において得られた自身の画像をまとめて参照することができ、これにより、アトラクション毎にプリントの受け取りを待つという入場者の煩わしさを低減することができる。また、特許文献1に記載されたシステムにおいては、入場者が無線タグを操作すること

により、定点カメラを操作して定点カメラの方を向いた自身の画像の撮影を行うことも可能である。

【0 0 0 4】

【特許文献 1】

特開 2 0 0 1 - 1 7 7 5 0 号公報

【0 0 0 5】

【発明が解決しようとする課題】

ところで、テーマパークの入場者がデジタルカメラやカメラ付き携帯電話等の撮像装置を所持している場合には、入場者はテーマパーク内に設置された定点カメラが取得した画像データ（以下第 1 の画像データとする）および自身のデジタルカメラにより取得した画像データ（以下第 2 の画像データとする）を取得することができる。このように第 1 および第 2 の画像データを取得した場合、第 2 の画像データを第 1 の画像データが保管された画像サーバに送信して、第 2 の画像データを第 1 の画像データと同じように管理したいという要望がある。

【0 0 0 6】

本発明は上記事情に鑑みなされたものであり、テーマパークへの入場者が自身の撮像装置により取得した第 2 の画像データを、定点カメラが取得した第 1 の画像データと同じように管理することを目的とする。

【0 0 0 7】

【課題を解決するための手段】

本発明による画像管理システムは、被写体が所持する第 1 の通信手段から送信される該被写体を特定する識別情報を受信する第 2 の通信手段、該被写体を撮影することにより該被写体の画像を表す第 1 の画像データを取得する定点に設置された撮影手段、および前記第 2 の通信手段が受信した前記識別情報と、前記第 1 の画像データの撮影日時を表す撮影日時情報と、前記撮影手段の設置場所を表す設置場所情報と、前記第 1 の画像データとを出力する第 1 の出力手段を有する複数の撮影システムと、

前記被写体が所持する前記第 1 の通信手段から送信される前記識別情報を受信する第 3 の通信手段、前記被写体が所持するデジタルカメラやカメラ付き携帯電

話等の撮像装置が取得した、撮影日時を表す撮影日時情報が付与された第2の画像データを取得する画像取得手段、および前記第3の通信手段が受信した前記識別情報と、前記第2の画像データとを出力する第2の出力手段を有する少なくとも1つのカメラ画像取得システムと、

前記複数の撮影システムおよび前記カメラ画像取得システムと接続され、該複数のシステムのそれぞれから出力された前記第1の画像データを前記第2の通信手段が受信した前記識別情報、前記撮影日時情報および前記設置場所情報と関連付けて記憶するとともに、前記カメラ画像取得システムから送信された前記第2の画像データを前記第3の通信手段が受信した前記識別情報と関連付けて記憶する記憶手段と、

前記第1および前記第2の画像データを前記識別情報毎に分類して管理する管理手段とを備えたことを特徴とするものである。

【0008】

第1の通信手段としては、長距離型（交信範囲数メートル程度）の無線タグ（RFID：Radio Frequency Identification）とその受信アンテナを利用することが考えられる。

【0009】

なお、本発明による画像管理システムにおいては、前記管理手段を、前記分類された前記第1の画像データに関連付けられた前記撮影日時情報および前記分類された前記第2の画像データに関連付けられた前記撮影日時情報に基づいて、撮影日時順に前記第1および前記第2の画像データをソートして管理する手段としてもよい。

【0010】

「撮影日時順」とは、撮影日時が古い順であっても撮影日時が新しい順であってもよい。

【0011】

また、本発明による画像管理システムにおいては、前記管理手段を、前記ソートされた前記第2の画像データに前記撮影日時が前後に隣接する少なくとも2つの前記第1の画像データに関連付けられた前記設置場所情報に基づいて、前記ソ

ートされた前記第 2 の画像データの撮影場所を推定して推定撮影場所情報を取得し、該推定撮影場所情報を前記第 2 の画像データと関連付けて管理する手段としてもよい。

【 0 0 1 2 】

【発明の効果】

本発明によれば、撮影システムの撮影手段により被写体が撮影されて第 1 の画像データが取得されるが、その際、被写体が所持する第 1 の通信手段から送信される識別情報が第 2 の通信手段により受信される。そして、第 2 の通信手段が受信した識別情報、第 1 の画像データの撮影日時を表す撮影日時情報、撮影手段の設置場所を表す設置場所情報および第 1 の画像データが第 1 の出力手段から出力される。

【 0 0 1 3 】

一方、被写体が所持する撮像装置に保管された撮影日時情報が付与された第 2 の画像データがカメラ画像取得システムの画像取得手段により取得される。その際、被写体が所持する第 1 の通信手段から送信される識別情報が第 3 の通信手段により受信される。そして、第 3 の通信手段が受信した識別情報および第 2 の画像データが第 2 の出力手段から出力される。

【 0 0 1 4 】

第 1 および第 2 の画像データは、複数の撮影システムおよびカメラ画像取得手段と接続された記憶手段に記憶される。この際、第 1 の画像データは第 2 の通信手段が受信した識別情報、第 1 の画像データの撮影日時情報および設置場所情報と、第 2 の画像データは第 3 の通信手段が受信した識別情報とそれぞれ関連付けられて記憶手段に記憶される。そして、第 1 および第 2 の画像データは、管理手段により識別情報毎に分類されて管理される。

【 0 0 1 5 】

このため、被写体は記憶手段にアクセスして識別情報を検索キーとして検索することにより、撮影システムが取得した第 1 の画像データと自身が取得した第 2 の画像データとを同時に参照することができる。したがって、撮影システムが取得した第 1 の画像データとともに、自身が取得した第 2 の画像データについても

プリント注文やアルバムの作成を効率よく行うことができる。

【0016】

また、分類された第1の画像データに関連付けられた撮影日時情報および分類された第2の画像データに関連付けられた撮影日時情報に基づいて、撮影日時順に第1および第2の画像データをソートすることにより、撮影システムが取得した第1の画像データおよび自身が取得した第2の画像データを撮影日時順に参照することが可能となり、その結果、プリント注文やアルバムの作成を容易に行うことができる。

【0017】

また、第1および第2の画像データを撮影日時順にソートすることにより、第2の画像データに撮影日時が前後する少なくとも2つの第1の画像データの撮影場所から、第2の画像データの撮影場所を推定することが可能である。したがって、ソートされた第2の画像データに撮影日時が前後する少なくとも2つの第2の画像データに関連付けられた設置場所情報に基づいて、ソートされた第2の画像データの撮影場所を推定して推定撮影場所情報を取得し、これを第2の画像データと関連付けて管理することにより、第2の画像データの撮影場所を大まかながらも推定することができる。したがって、アルバムを作成する際に、第2の画像データに撮影場所を文字として付与したり第1および第2の画像データを撮影場所毎に分類することが容易となる。

【0018】

【発明の実施の形態】

以下図面を参照して本発明の実施形態について説明する。図1は本発明の実施形態による画像管理システムの構成を示す概略ブロック図である。図1に示すように、本実施形態による画像管理システムは、テーマパーク内に設置されるものであり、テーマパーク内に設置されてテーマパークの入場者である人物（以下被写体ユーザU0とする）を被写体として撮影を行って被写体の画像を表す第1の画像データS1を取得する複数（ここでは3つ）の撮影システム1A、1B、1Cと、テーマパークの入場者である被写体ユーザU0が所持するデジタルカメラ10から被写体ユーザU0が撮影により取得した第2の画像データS2を読み出

すためのカメラ画像取得システム 2 と、撮影システム 1 A, 1 B, 1 C およびカメラ画像取得システム 2 とネットワーク 3 を介して接続された画像保管サーバ 4 とを備える。なお、画像保管サーバ 4 は、被写体ユーザ U 0 が所持するパソコン、携帯電話および PDA 等の端末装置 6 並びに画像データ S 1, S 2 のプリント出力、アルバムの作成および CD-R への記録等を行うラボ 8 とネットワーク 3 を介して接続されている。また、画像保管サーバ 4 には、後述する無線タグ 3 0 に記憶されたユーザ ID と、ユーザの氏名、住所等のユーザ情報とが対応付けて記憶されている。

【0019】

被写体ユーザ U 0 はデジタルカメラ 1 0 および無線タグ 3 0 を所持し、テーマパーク内を移動することにより、撮影システム 1 A, 1 B, 1 C により撮影されつつ、デジタルカメラ 1 0 により撮影を行って画像データ S 2 を取得する。

【0020】

なお、無線タグ 3 0 はテーマパークへの入場時に被写体ユーザ U 0 に渡される。

【0021】

図 2 は撮影システムの構成を示す概略斜視図である。なお、撮影システム 1 A, 1 B, 1 C の構成は同一であるため、ここでは撮影システム 1 A についてのみ説明する。図 2 に示すように撮影システム 1 A は、テーマパーク内の撮影エリア 5 A 内に存在する被写体ユーザ U 0 の撮影を行うものであり、エリア 1 9 に入場する入場者数をカウントするためのゲート 1 1 A, 1 1 B と、ゲート 1 1 A, 1 1 B の間のエリア 1 9 に存在する無線タグ 3 0 を所持する被写体ユーザ U 0 の数をカウントする広域センサ 1 2 と、撮影エリア 5 A 内に存在する無線タグ 3 0 を所持する被写体ユーザ U 0 と通信を行う通信デバイス 1 3 と、被写体ユーザ U 0 の撮影を行う撮影デバイス 1 4 と、被写体ユーザ U 0 への撮影指示や撮影デバイス 1 4 が取得した画像データ S 1 の表示等を行う表示器 1 5 と、撮影デバイス 1 4 により被写体ユーザ U 0 を捕捉するために、撮影エリア 5 A 内に存在する被写体ユーザ U 0 を検出するための赤外線センサや超音波センサからなる人物センサ 1 6 A, 1 6 B とを備える。

【0022】

ゲート11A, 11Bはエリア19に入場する入場者数を無線タグ30の所持、不所持に拘わらずカウントするためのものであり、カウント数は例えば画像保管サーバ4とともに設置された不図示のテーマパークのシステムに入力され、エリア19に入場した入場者数の把握に用いられる。また、カウント数は入場者数を表す情報として撮影デバイス14にも入力され、撮影動作の制御に用いられる。

【0023】

なお、ゲート11A, 11Bとしては、電光管により人物の数をカウントするもの、回転可能な遮断バーを設け、遮断バーを回転させることにより人物を通過させて人物数をカウントするもの等、人物の数をカウントすることができる任意の構成を有するものを用いることができる。

【0024】

広域センサ12は、エリア19内に存在する無線タグ30を所持する被写体ユーザU0を検出する。図3は広域センサ12の構成を示す概略ブロック図である。図3に示すように、広域センサ12は、問い合わせ情報を表す問い合わせ信号を所定間隔で発信するとともに、無線タグ30からの問い合わせ信号に対する返信信号を受信する通信部12Aと、返信信号を受信した旨を表す信号、返信信号により表される返信情報を撮影デバイス14に出力する出力部12Bとを備える。

【0025】

通信デバイス13は、撮影エリア5Aに存在する無線タグ30を所持する被写体ユーザU0と通信を行う。図4は通信デバイス13の構成を示す概略ブロック図である。図4に示すように、通信デバイス13は、問い合わせ情報を表す問い合わせ信号を所定間隔で発信するとともに、無線タグ30からの問い合わせ信号に対する返信信号、さらには無線タグ30から送信される撮影指示信号を受信する通信部13Aと、通信部13Aが受信した返信信号を撮影デバイス14に出力する出力部13Bとを備える。

【0026】

ここで、無線タグ 30 が送信する返信信号により表される返信情報は、被写体ユーザ U0 を特定するユーザ ID を含む。ユーザ ID は被写体ユーザ U0 に固有の番号であり、予め無線タグ 30 に記憶された番号をユーザ ID として用いてもよく、無線タグ 30 を被写体ユーザ U0 に渡す際に、その被写体ユーザ U0 が所望とする番号や記号をユーザ ID として無線タグ 30 に記憶してもよい。

【0027】

図 5 は撮影デバイスの構成を示す概略ブロック図である。図 5 に示すように撮影デバイス 14 は、デジタルカメラからなり、撮影により第 1 の画像データ S1 を取得する撮影部 14A と、第 1 の画像データ S1 を一時的に記憶する第 1 のメモリ 14B と、ゲート 11A、11B、広域センサ 12、通信デバイス 13、表示器 15 および人物センサ 16A、16B と信号の送受信を行う送受信部 14C と、撮影デバイス 14 の駆動を制御する制御部 14D と、制御プログラムや種々の情報を記憶する第 2 のメモリ 14E と、撮影部 14A のパンおよびチルトを行う駆動部 14F と、ネットワーク 3 に接続された通信部 14G とを備える。

【0028】

撮影デバイス 14 においては、広域センサ 12 が撮影デバイス 14 に送信した、広域センサ 12 が返信信号を受信した旨を表す信号に基づいて、制御部 14D が撮影部 14A を直ちに撮影可能な待機状態に設定する。

【0029】

また、撮影デバイス 14 は、ゲート 11A、11B がカウントしたエリア 19 内への入場者数を表す情報に基づいて、エリア 19 内への入場者数を把握して撮影モードを切り替える。具体的には、制御部 14D がエリア 19 内への入場者数をしきい値 T_{h1} と比較し、しきい値 T_{h1} 未満であって自動撮影に適した状態にある場合には撮影部 14A の撮影モードを自動撮影に切り替える。なお、入場者数がしきい値 T_{h1} 以上となって撮影のために 1 つの被写体ユーザ U0 を特定することが困難となった場合には、制御部 14D が撮影を待機するように撮影部 14A の撮影モードを切り替える。

【0030】

なお、入場者数がしきい値 T_{h1} 以上となった場合には、撮影エリア 5A 内に

無線タグ 3 0 を所持する複数の被写体ユーザ U 0 が複数存在する可能性があり、1 つの被写体ユーザ U 0 を特定することが困難であるため、被写体ユーザ U 0 が無線タグ 3 0 を操作することによって撮影を行うマニュアル撮影モードに撮影モードを切り替えてもよい。この場合、撮影デバイス 1 4 は、撮影時に被写体ユーザ U 0 に撮影を行わせる指示を指示信号として表示器 1 5 に送信する。また、無線タグ 3 0 から送信された返信信号により表される返信情報にはユーザ I D が含まれるため、ユーザ I D に基づいて撮影しようとする被写体ユーザ U 0 に表示器 1 5 から呼びかけて撮影を行う撮影モード、あるいは撮影しようとする被写体ユーザ U 0 以外は撮影エリア 5 A から退出する旨を通知してから撮影を行う撮影モードに切り替えてもよい。本実施形態においては、マニュアル撮影モードに切り替えるものとして説明する。なお、マニュアル撮影モード時に被写体ユーザ U 0 に対して撮影を行うことを呼びかけるようにしてもよい。

【 0 0 3 1 】

ここで、マニュアル撮影モードおよび被写体ユーザ U 0 に呼びかけて撮影を行う撮影モードにおいては、撮影される被写体ユーザ U 0 に自身が撮影されることを知らせる必要がある。このため、制御部 1 4 D は画像保管サーバ 4 にアクセスして、返信情報に含まれるユーザ I D に基づいて後述するユーザデータベースを参照してユーザの氏名を表す情報を取得して表示器 1 5 に送信し、後述するように表示器 1 5 に撮影しようとする被写体ユーザ U 0 の氏名の呼びかけを行わせる。

【 0 0 3 2 】

また、撮影デバイス 1 4 は、通信デバイス 1 3 が送信した返信信号により表される返信情報および撮影により取得した画像データ S 1 を通信部 1 4 G から画像保管サーバ 4 に送信する。なお、撮影により取得した第 1 の画像データ S 1 を表示器 1 5 に送信して表示器 1 5 に表示するようにしてもよい。

【 0 0 3 3 】

さらに、撮影デバイス 1 4 は、人物センサ 1 6 A, 1 6 B から送信された信号に基づいて撮影エリア 5 A 内の被写体ユーザ U 0 の位置を把握し、駆動部 1 4 F を駆動して撮影部 1 4 A の画角内に被写体ユーザ U 0 が入るように撮影部 1 4 A

のパンおよびチルトを行う。

【0034】

ここで、撮影デバイス14が取得した第1の画像データS1は、通信デバイス13が送信した返信信号により表される返信情報、撮影日時を表す撮影日時情報、および撮影システム1Aの設置場所を表す設置場所情報とともに、画像保管サーバ4に送信される。なお、返信情報、撮影日時情報および設置場所情報は第1の画像データS1とは別ファイルとして画像保管サーバ4に送信してもよく、第1の画像データS1のタグに記述して第1の画像データS1とともに画像保管サーバ4に送信してもよい。本実施形態においては、返信情報、撮影日時情報および設置場所情報は第1の画像データS1のタグに記述されるものとする。

【0035】

図6は表示器の構成を示す概略ブロック図である。図6に示すように表示器15は、撮影デバイス14から送信される種々の指示を表す指示信号および画像データS1を受信する受信部15Aと、画像データS1や種々の情報を表示するモニタ15Bと、指示信号に基づいて被写体ユーザU0に撮影の指示等を行うための音声を出力するスピーカ15Cとを備える。

【0036】

ここで、上述したように撮影デバイス14において設定された撮影モードが、マニュアル撮影モードおよび被写体ユーザU0に呼びかけてから撮影を行うモードである場合のように、被写体ユーザU0に呼びかけを行う場合には、その旨が撮影デバイス14から指示され、「〇〇くん、これから撮影するよ」、「××ちゃん、撮影ボタンを押してね」等のように、被写体ユーザU0を特定した音声出力する。

【0037】

人物センサ16A、16Bは、撮影エリア5A内の被写体ユーザU0の位置を検出し、被写体ユーザU0の位置を表す位置信号を、パンおよびチルトに用いるために撮影デバイス14に送信する。なお、図2においては2つの人物センサ16A、16Bを設けているが、3以上の人物センサを設けて被写体ユーザU0の位置の検出精度を向上させてもよい。

【 0 0 3 8 】

図 7 はカメラ画像取得システムの構成を示す概略ブロック図である。図 7 に示すように、カメラ画像取得システム 2 は、被写体ユーザ U 0 が所持するデジタルカメラ 1 0 から被写体ユーザ U 0 が撮影により取得した第 2 の画像データ S 2 を読み出す読出部 2 1 と、被写体ユーザ U 0 が所持する無線タグ 3 0 に問い合わせ情報を表す問い合わせ信号を発信するとともに、無線タグ 3 0 からの問い合わせ信号に対する返信信号を受信する通信部 2 2 と、第 2 の画像データ S 2 を一時的に記憶する第 1 のメモリ 2 3 と、第 2 の画像データ S 2 および返信信号により表される返信情報を画像保管サーバ 4 に送信する送信部 2 4 と、カメラ画像取得システム 2 の駆動を制御する制御部 2 5 と、制御プログラムや種々の情報を記憶する第 2 のメモリ 2 6 とを備える。

【 0 0 3 9 】

読出部 2 1 は、デジタルカメラ 1 0 に接続する U S B ケーブル、デジタルカメラ 1 0 のメモリカードを装填するカードリーダー、デジタルカメラ 1 0 を設置するクレードル等が接続されるが、本実施形態においては、読出部 2 1 はデジタルカメラ 1 0 を設置するクレードル 2 1 A が接続され、クレードル 2 1 A とデジタルカメラ 1 0 とを接続してデジタルカメラ 1 0 から第 2 の画像データ S 2 を読み出すものとする。

【 0 0 4 0 】

カメラ画像取得システム 2 は、被写体ユーザ U 0 が読出部 2 1 のクレードル 2 1 A にデジタルカメラ 1 0 を設置すると、デジタルカメラ 1 0 から被写体ユーザ U 0 が取得した第 2 の画像データ S 2 を読み出すとともに、被写体ユーザ U 0 が所持する無線タグ 3 0 に問い合わせ信号を送信し、無線タグ 3 0 が送信した返信信号を受信する。そして、第 2 の画像データ S 2 と返信信号により表される返信情報とともに画像保管サーバ 4 に送信する。なお、返信情報は第 2 の画像データ S 2 とは別ファイルとして画像保管サーバ 4 に送信してもよく、第 2 の画像データ S 2 のタグに記述して第 2 の画像データ S 2 とともに画像保管サーバ 4 に送信してもよい。また、第 2 の画像データ S 2 のタグには撮影日時を表す撮影日時情報が記述される。本実施形態においては、返信情報は第 2 の画像データ S 2 のタ

グに記述されるものとする。

【 0 0 4 1 】

図 8 は画像保管サーバの構成を示す概略ブロック図である。図 8 に示すように画像保管サーバ 4 は、撮影システム 1 A、1 B、1 C、カメラ画像取得システム 2、被写体ユーザ U 0 が所持する端末装置 6 およびラボ 8 とネットワーク 3 を介しての通信を行う通信部 4 1 と、第 1 および第 2 の画像データ S 1、S 2、検索用のデータベース D B 1、画像保管サーバ 4 の制御プログラム、およびユーザ I D とユーザ情報とを対応付けたユーザデータベース D B 2 等の種々の情報を記憶する大容量のメモリ 4 2 と、メモリ 4 2 に記憶されるデータベース D B 1 を生成することにより、メモリ 4 2 に記憶された第 1 および第 2 の画像データ S 1、S 2 の管理を行う管理部 4 3 と、画像保管サーバ 4 の駆動を制御する制御部 4 4 とを備える。

【 0 0 4 2 】

管理部 4 3 は、撮影システム 1 A、1 B、1 C が送信した第 1 の画像データ S 1 のタグに記述された情報（タグ情報）およびカメラ画像取得システム 2 が送信した第 2 の画像データ S 2 のタグ情報からデータベース D B 1 を生成する。ここで、第 1 の画像データ S 1 のタグ情報には、第 1 の画像データ S 1 のファイル名、返信情報により表される被写体ユーザ U 0 のユーザ I D、撮影日時情報、設置場所情報、カメラ I D および撮影情報が含まれる。

【 0 0 4 3 】

なお、撮影情報には、撮影時におけるストロボの有無、ズーム倍率、パンおよびチルトの量が含まれる。また、第 2 の画像データ S 2 のタグ情報には、第 2 の画像データ S 2 のファイル名、返信情報により表される被写体ユーザ U 0 の I D、撮影日時情報および撮影情報が含まれる。

【 0 0 4 4 】

そして、管理部 4 3 は、第 1 および第 2 の画像データ S 1、S 2 に付与されたタグ情報に含まれる被写体ユーザ U 0 のユーザ I D に基づいて、被写体ユーザ U 0 毎に第 1 および第 2 の画像データ S 1、S 2 を分類し、さらに第 1 および第 2 の画像データ S 1、S 2 のタグ情報に記述された撮影日時情報に基づいて、撮影

日時が古い順に第 1 および第 2 の画像データ S 1, S 2 をソートしてデータベース DB 1 を生成する。

【 0 0 4 5 】

図 9 はデータベース DB 1 の構成例を示す図である。図 9 に示すように、データベース DB 1 は、ユーザ ID 毎に分類され（図 9 においてはユーザ 1, ユーザ 2 …とする）、さらに各ユーザ ID 毎に第 1 および第 2 の画像データ S 1, S 2 が撮影日時が古い順にソートされて第 1 および第 2 の画像データ S 1, S 2 のファイル名が記述される。

【 0 0 4 6 】

図 9 においては、ユーザ 2 の No. 1 の画像データは撮影システム 1 A が取得したものであり、ファイル名が 0 0 2 4. j p g、撮影日時が 2 0 0 2 年 1 1 月 6 日 1 0 時 3 2 分、撮影場所が撮影エリア 5 A、カメラ ID が 1 A となっている。

【 0 0 4 7 】

ユーザ 2 の No. 2 の画像データは被写体ユーザ U 0 がデジタルカメラ 1 0 により取得したものであり、ファイル名が D S C 0 0 0 1. j p g、撮影日時が 2 0 0 2 年 1 1 月 6 日 1 0 時 4 5 分となっている。

【 0 0 4 8 】

ユーザ 2 の No. 3 の画像データは撮影システム 1 B が取得したものであり、ファイル名が 0 0 4 4. j p g、撮影日時が 2 0 0 2 年 1 1 月 6 日 1 1 時 1 5 分、撮影場所が撮影エリア 5 B、カメラ ID が 1 B となっている。

【 0 0 4 9 】

ここで、管理部 4 3 は、ソート後に第 2 の画像データ S 2 の撮影場所を撮影日時が前後する少なくとも 2 つの第 1 の画像データ S 1 の撮影場所に基づいて推定し、データベース DB 1 における第 2 の画像データ S 2 の撮影場所を推定された撮影場所にて記述する。例えば、図 9 に示すように、ファイル名が D S C 0 0 0 1. j p g の第 2 の画像データ S 2 については、撮影日時が前のファイル名が 0 0 2 4. j p g の第 1 の画像データ S 1 の撮影場所が撮影エリア 5 A であり、撮影日時が後のファイル名が 0 0 4 4. j p g の第 1 の画像データ S 1 の撮影場

所が撮影エリア 5 B であるため、被写体ユーザ U 0 はファイル名が D S C 0 0 0 1 . j p g の第 2 の画像データ S 2 を撮影エリア 5 A, 5 B の間のエリア 7 A において取得したと推定できる。このため、管理部 4 3 は、ファイル名が D S C 0 0 0 1 . j p g の第 2 の画像データ S 2 の撮影場所をエリア 7 A と記述してデータベース D B 1 を生成する。

【0050】

画像保管サーバ 4 の制御部 4 4 は、端末装置 6 からアクセスがあると、被写体ユーザ U 0 が端末装置 6 に入力したユーザ I D に基づいてデータベース D B 1 を検索して、そのユーザ I D に分類された第 1 および第 2 の画像データ S 1, S 2 の閲覧をアクセスした端末装置 6 に許可する。被写体ユーザ U 0 は端末装置 6 を操作して、第 1 および第 2 の画像データ S 1, S 2 のダウンロードや、アルバム作成の依頼、C D - R 作成の依頼およびプリント注文を画像保管サーバ 4 に対して行う。

【0051】

図 1 0 は無線タグ 3 0 の構成を示す概略ブロック図である。図 1 0 に示すように、無線タグ 3 0 は、無線タグ 3 0 を所持する被写体ユーザ U 0 を特定するユーザ I D 等を記憶するメモリ 3 1 と、問い合わせ信号の受信およびユーザ I D を含む返信情報を表す返信信号や撮影指示信号の送信を行う通信部 3 2 と、マニュアル撮影を行う場合に撮影指示を行う撮影ボタン 3 3 と、無線タグ 3 0 の駆動を制御する制御部 3 4 とを備え、被写体ユーザ U 0 が所持しやすいようにカード状に形成されてなるものである。ここで、撮影ボタン 3 3 が押下されると、撮影指示を行うための撮影指示信号が通信部 3 2 から通信デバイス 1 3 に送信される。

【0052】

なお、無線タグ 3 0 の具体例としては電池内蔵で交信距離が数メートル以上の長距離型 R F I D タグが考えられる。また、無線タグ 3 0 は、撮影システム 1 A, 1 B, 1 C での撮影を望むテーマパークの入場者である被写体ユーザ U 0 に配布される。この際、被写体ユーザ U 0 の氏名、住所および電話番号等を画像保管サーバ 4 のユーザデータベース D B 2 に登録することにより、被写体ユーザ U 0 に基づいて被写体ユーザ U 0 の氏名を特定することができるため、上述したよう

に撮影時に表示器 15 から被写体ユーザ U0 を特定した音声を出力することが可能となる。

【0053】

次いで、本実施形態において行われる処理について説明する。図 11 は撮影システム 1A, 1B, 1C において撮影時に行われる処理を示すフローチャートである。なお、ここでは撮影システム 1A において行われる処理について説明する。

【0054】

撮影デバイス 14 の制御部 14D は、通信デバイス 13 に常時間い合わせ信号を所定間隔で発信させており（ステップ S1）、さらに通信デバイス 13 が撮影エリア 5A 内に存在する被写体ユーザ U0 の無線タグ 30 から問い合わせ信号に対する返信信号を受信したか否かを監視している（ステップ S2）。ステップ S2 が肯定されると、人物センサ 16A, 16B により撮影エリア 5A 内の被写体ユーザ U0 を検出し（ステップ S3）、被写体ユーザ U0 を捕捉するように撮影部 14A のパンおよびチルトを行う（ステップ S4）。

【0055】

そして、制御部 14D は撮影部 14A が被写体ユーザ U0 を捕捉したか否かを判定し（ステップ S5）、ステップ S5 が否定されるとステップ S3 へ戻る。ステップ S5 が肯定されると、撮影モードが自動撮影かマニュアル撮影かを判定する（ステップ S6）。なお、撮影モードは、広域センサ 12 がカウントしたエリア 19 内の被写体ユーザ U0 の数が所定のしきい値 T_{h1} 以上の場合にマニュアル撮影に、しきい値 T_{h1} 未満の場合に自動撮影に切り替えられる。

【0056】

撮影モードが自動撮影の場合には、制御部 14D は撮影を行う旨の指示を表示器 15 に行い（ステップ S7）、表示器 15 から出力される撮影指示の音声のタイミングに合わせて撮像部 14A が撮影を行って第 1 の画像データ S1 を取得する（ステップ S8）。

【0057】

一方、撮影モードがマニュアル撮影の場合には、制御部 14D は被写体ユーザ

U0に無線タグ30の撮影ボタン33を押下させる指示を表示器15に行う(ステップS9)。そして、制御部14Dは、被写体ユーザU0が撮影ボタン33を押下することにより無線タグ30が送信した撮影指示信号を通信デバイス13が受信したか否かの監視を開始し(ステップS10)、ステップS10が肯定されるとステップS8に進み、撮影部14Aが撮影を行って第1の画像データS1を取得する。

【0058】

そして制御部14Dは通信部14Gを介して第1の画像データS1および無線タグ30が送信した返信信号により表される返信情報を画像保管サーバ4に送信し(ステップS11)、処理を終了する。

【0059】

図12はカメラ画像取得システム2において行われる処理を示すフローチャートである。まず、カメラ画像取得システム2の制御部25は、読出部21に接続されたクレードル21Aにデジタルカメラ10が設置されたか否かを監視しており(ステップS21)、ステップS21が肯定されると、デジタルカメラ10から被写体ユーザU0が撮影により取得した第2の画像データS2を読み出し(ステップS22)、メモリ23に一時的に記憶する(ステップS23)。続いて、被写体ユーザU0が所持する無線タグ30に問い合わせ信号を送信し(ステップS24)、無線タグ30が送信した返信信号を受信する(ステップS25)。そして、第2の画像データS2を返信信号により表される返信情報とともに画像保管サーバ4に送信し(ステップS26)、処理を終了する。

【0060】

画像保管サーバ4においては、管理部43が撮影システム1A、1B、1Cから送信された第1の画像データS1のタグ情報およびカメラ画像取得システム2から送信された第2の画像データS2のタグ情報からデータベースDB1を生成する。

【0061】

そして、被写体ユーザU0が後日端末装置6から画像保管サーバ4にアクセスし、ユーザIDを画像保管サーバ4に送信すると、制御部44がユーザIDをキ

ーとしてメモリ42に保管されたデータベースDB1を検索し、そのユーザIDに分類された第1および第2の画像データS1, S2を端末装置6に表示する。具体的には、例えば図13に示すように撮影日時順にソートされた画像データS1, S2のサムネイル画像の一覧を端末装置6に表示する。なお、サムネイル画像の一覧には、ファイル名、撮影日時および推定された撮影場所も含まれる。また、撮影システム1A, 1B, 1Cが取得した第1の画像データS1のサムネイル画像には、その旨を示す☆印が付与されている。

【0062】

被写体ユーザU0はサムネイル画像の一覧からプリント注文やCD-Rへの記録等の注文を行うサムネイル画像を選択し、注文の指示を画像保管サーバ4に対して行う。また、所望とする第1および第2の画像データS1, S2をダウンロードして自身でアルバムを作成することも可能である。

【0063】

なお、画像保管サーバ4に注文を行った場合には、画像保管サーバ4は注文のあった第1および第2の画像データS1, S2をラボ8に送信する。ラボ8は注文に応じて第1および第2の画像データS1, S2のプリント出力やCD-Rへの記録を行う。

【0064】

このように、本実施形態においては、画像保管サーバ4が撮影システム1A, 1B, 1Cが取得した第1の画像データS1と被写体ユーザU0がデジタルカメラ10により取得した第2の画像データS2とを、無線タグ30が送信した返信信号により表される返信情報に含まれるユーザID毎に分類して保管するようにしたため、被写体ユーザU0は画像保管サーバ4にアクセスしてユーザIDをキーとして検索を行うことにより、撮影システム1A, 1B, 1Cが取得した第1の画像データS1と自身が取得した第2の画像データS2とを同時に参照することができる。したがって、撮影システム1A, 1B, 1Cが取得した第1の画像データS1とともに、自身が取得した第2の画像データS2についてもプリント注文やアルバムの作成を効率よく行うことができる。

【0065】

また、分類された第1の画像データS1に関連付けられた撮影日時情報および分類された第2の画像データS2に関連付けられた撮影日時情報に基づいて、撮影日時順に第1および第2の画像データS1，S2をソートしているため、撮影システム1A，1B，1Cが取得した第1の画像データS1および自身が取得した第2の画像データS2を撮影日時順に参照することが可能となり、その結果、プリント注文やアルバムの作成を容易に行うことができる。

【0066】

また、第1および第2の画像データS1，S2を撮影日時順にソートした場合に、第2の画像データS2に撮影日時が前後する第1の画像データS1の撮影場所から、その第2の画像データS2の撮影場所を推定してデータベースDB1に記述しているため、第2の画像データS2の撮影場所を大まかながらも推定することができ、これにより、アルバムを作成する際に、第2の画像データS2に撮影場所を文字として付与したり第1および第2の画像データS1，S2を撮影場所毎に分類することが容易となる。

【0067】

例えば、図14に示すように、テーマパーク内の地図上に写真を配置するテンプレートを用意した場合、撮影システム1A，1B，1Cが取得した第1の画像データS1に加えて、エリア7Aにおいて被写体ユーザU0が取得した第2の画像データS2もこのテンプレートに含めることができるため、被写体ユーザU0はテーマパーク内を移動した位置に応じて画像が挿入された合成画像G0を得ることができる。

【0068】

また、上記実施形態においては、3つの撮影システム1A，1B，1Cを設けているが、2つあるいは4以上の撮影システムを設けてもよい。

【0069】

また、上記実施形態においては、被写体ユーザU0が所持するデジタルカメラ10により撮影を行う場合について説明したが、被写体ユーザU0が所持するカメラ付き携帯電話により撮影を行う場合にも、本発明を適用できることはもちろんである。

【図面の簡単な説明】**【図 1】**

本発明の実施形態による画像管理システムの構成を示す概略ブロック図

【図 2】

撮影システムの構成を示す概略斜視図

【図 3】

広域センサの構成を示す概略ブロック図

【図 4】

通信デバイスの構成を示す概略ブロック図

【図 5】

撮影デバイスの構成を示す概略ブロック図

【図 6】

表示器の構成を示す概略ブロック図

【図 7】

カメラ画像取得システムの構成を示す概略ブロック図

【図 8】

画像保管サーバの構成を示す概略ブロック図

【図 9】

データベースの構成例を示す図

【図 10】

無線タグの構成を示す概略ブロック図

【図 11】

撮影システムにおいて撮影時に行われる処理を示すフローチャート

【図 12】

カメラ画像取得システムにおいて行われる処理を示すフローチャート

【図 13】

サムネイル画像の一覧を示す図

【図 14】

合成画像の例を示す図

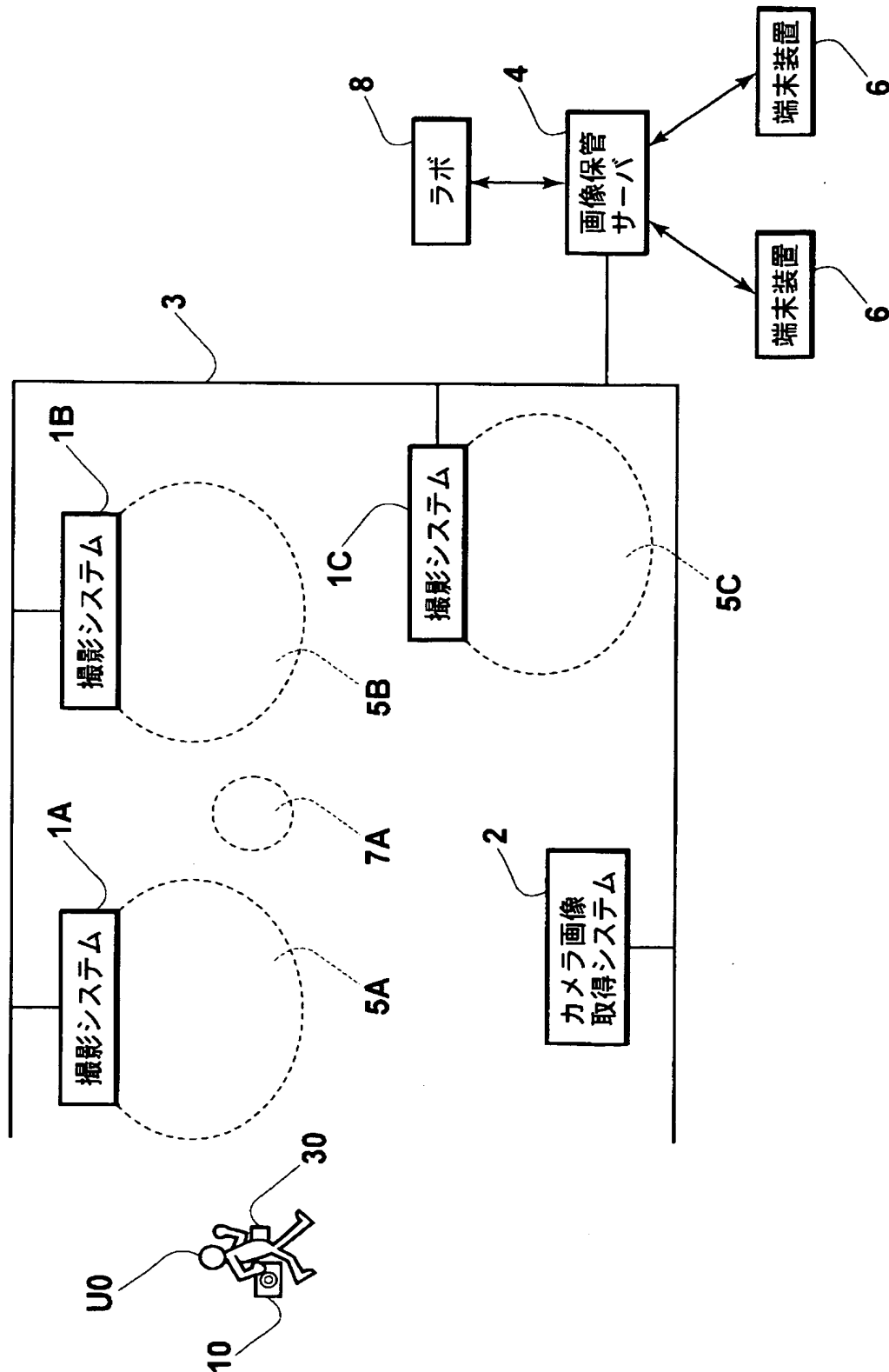
【符号の説明】

- 1 A, 1 B, 1 C 撮影システム
- 2 カメラ画像取得システム
- 3 ネットワーク
- 4 画像保管サーバ
- 5 A, 5 B, 5 C 撮影エリア
- 6 端末装置
- 8 ラボ
- 1 1 A, 1 1 B ゲート
- 1 2 広域センサ
- 1 3 通信デバイス
- 1 4 撮影デバイス
- 1 5 表示器
- 1 6 A, 1 6 B 人物センサ

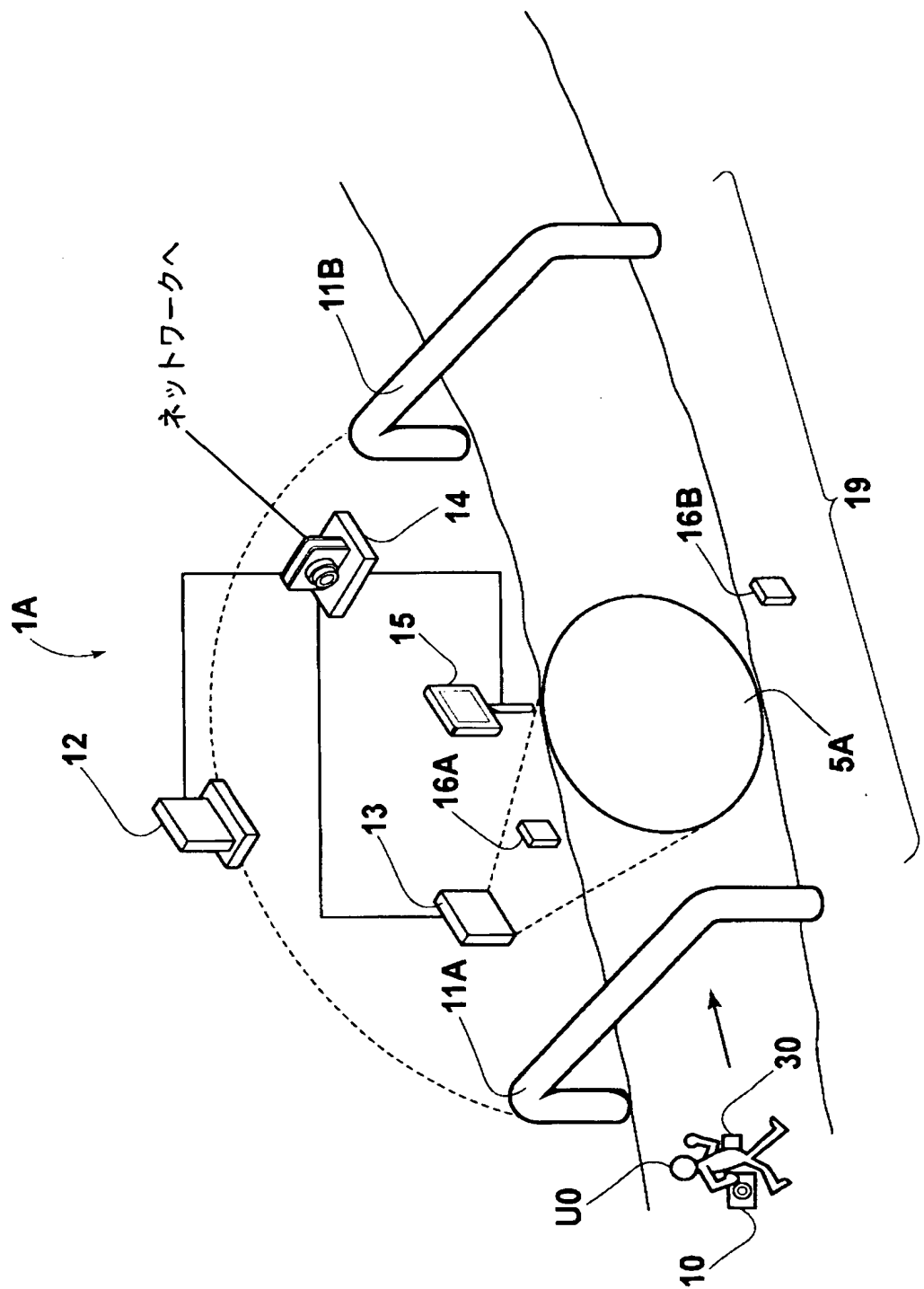
【書類名】

図面

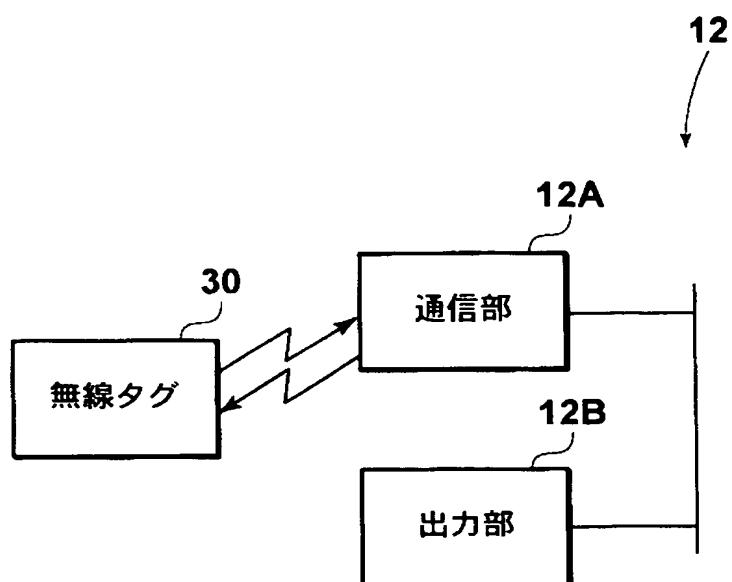
【図 1】



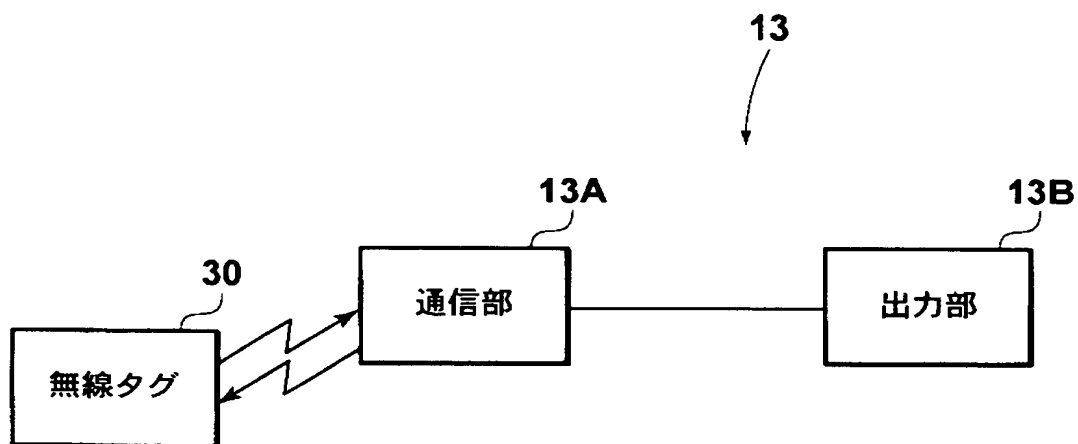
【図 2】



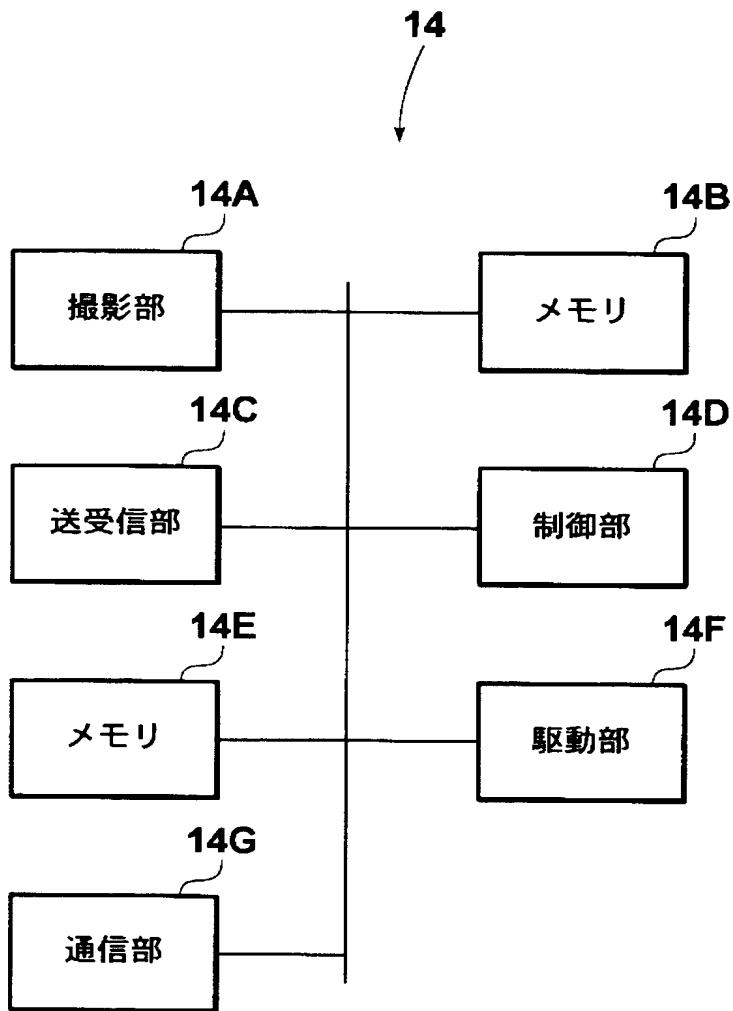
【図 3】



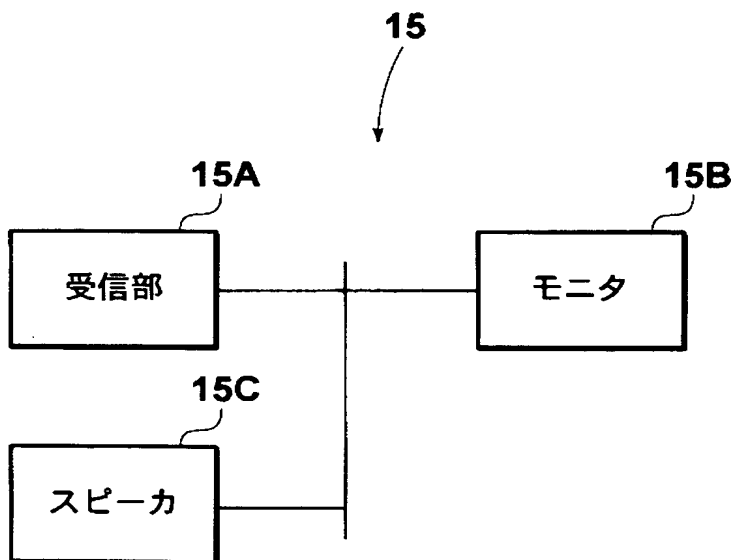
【図 4】



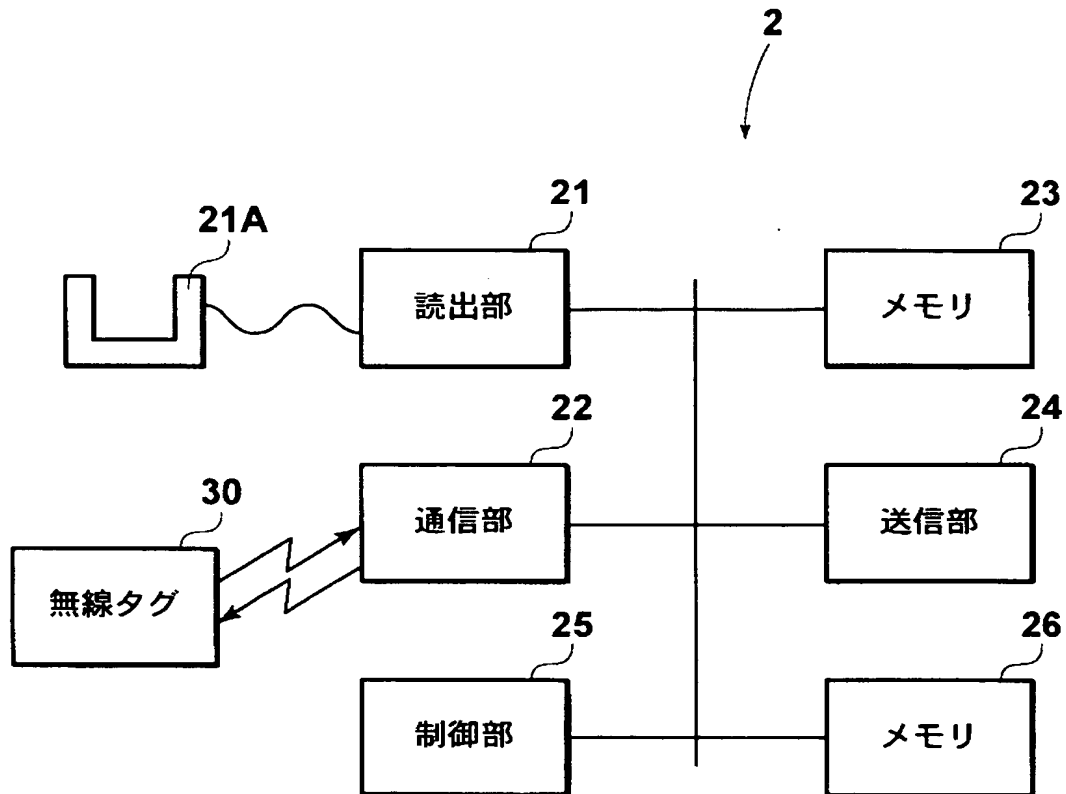
【図 5】



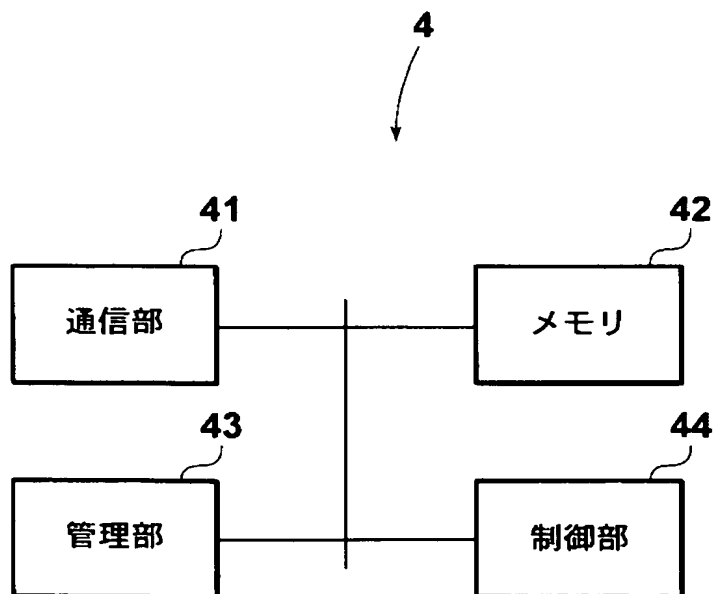
【図 6】



【図 7】



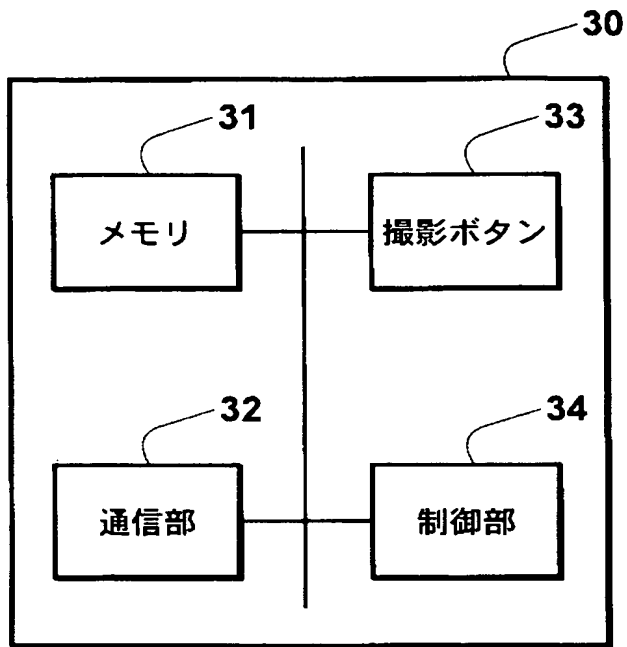
【図 8】



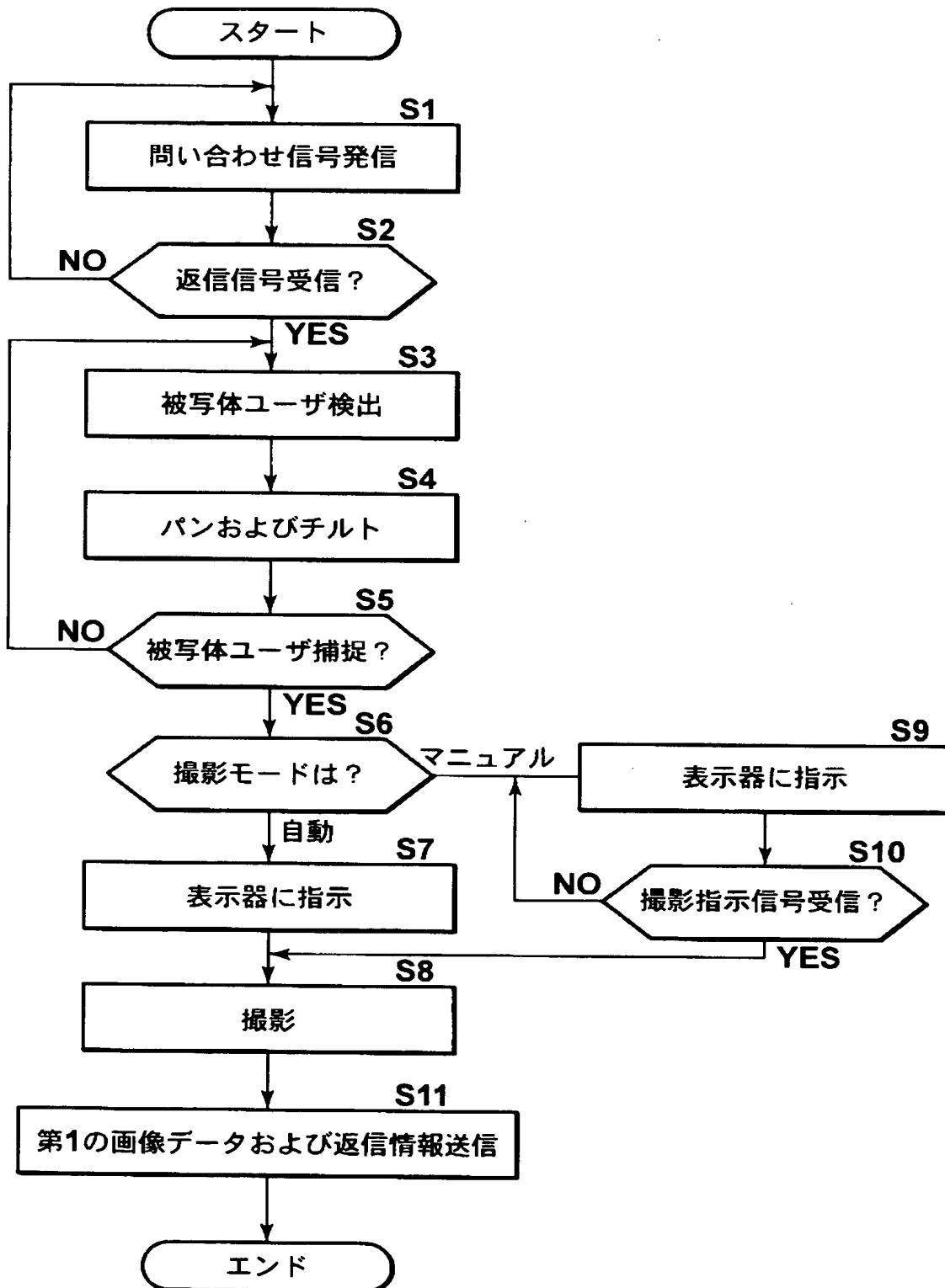
【図 9】

DB1	ユーザ 1	No.	ファイル名	撮影日時	撮影場所	カメラID
	ユーザ 2	1	0024.jpg	2002.11.06 10:32	撮影エリア 5A	1A
	ユーザ 3	2	DSC0001.jpg	2002.11.06 10:45	エリア 7A	
	ユーザ 4	3	0044.jpg	2002.11.06 11:15	撮影エリア 5B	1B

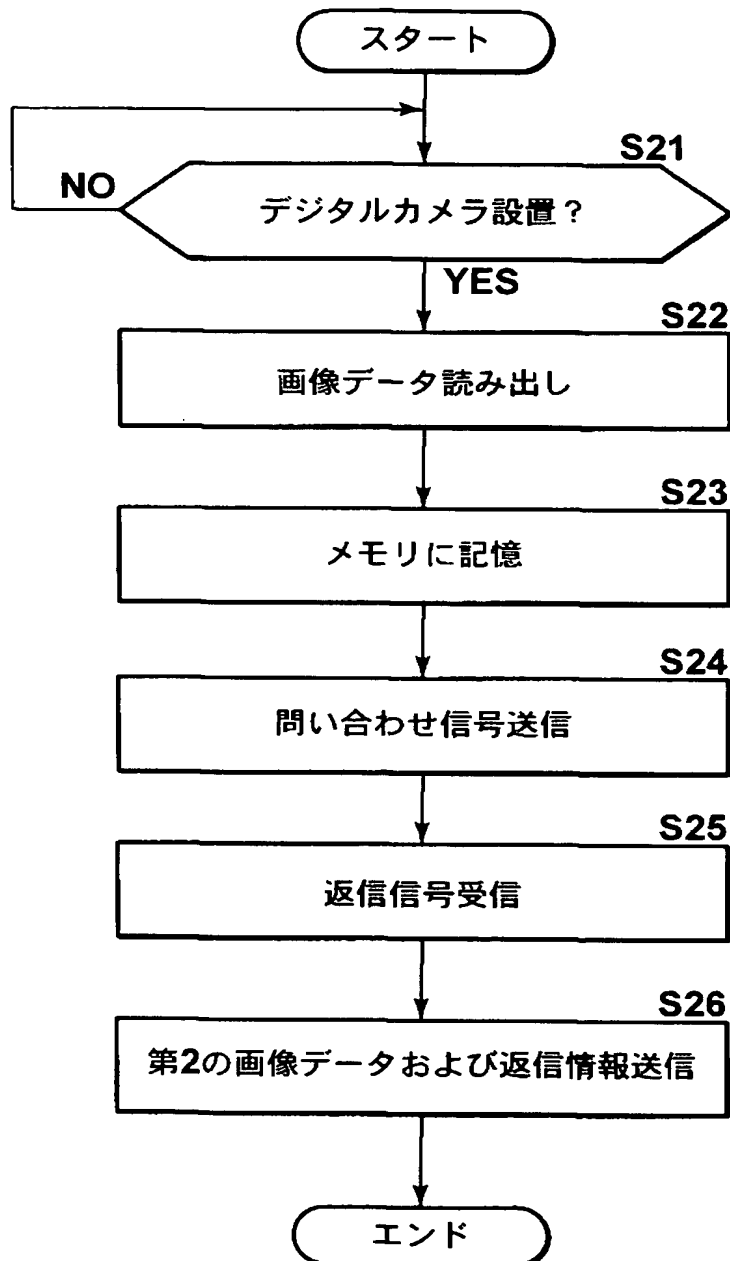
【図 10】



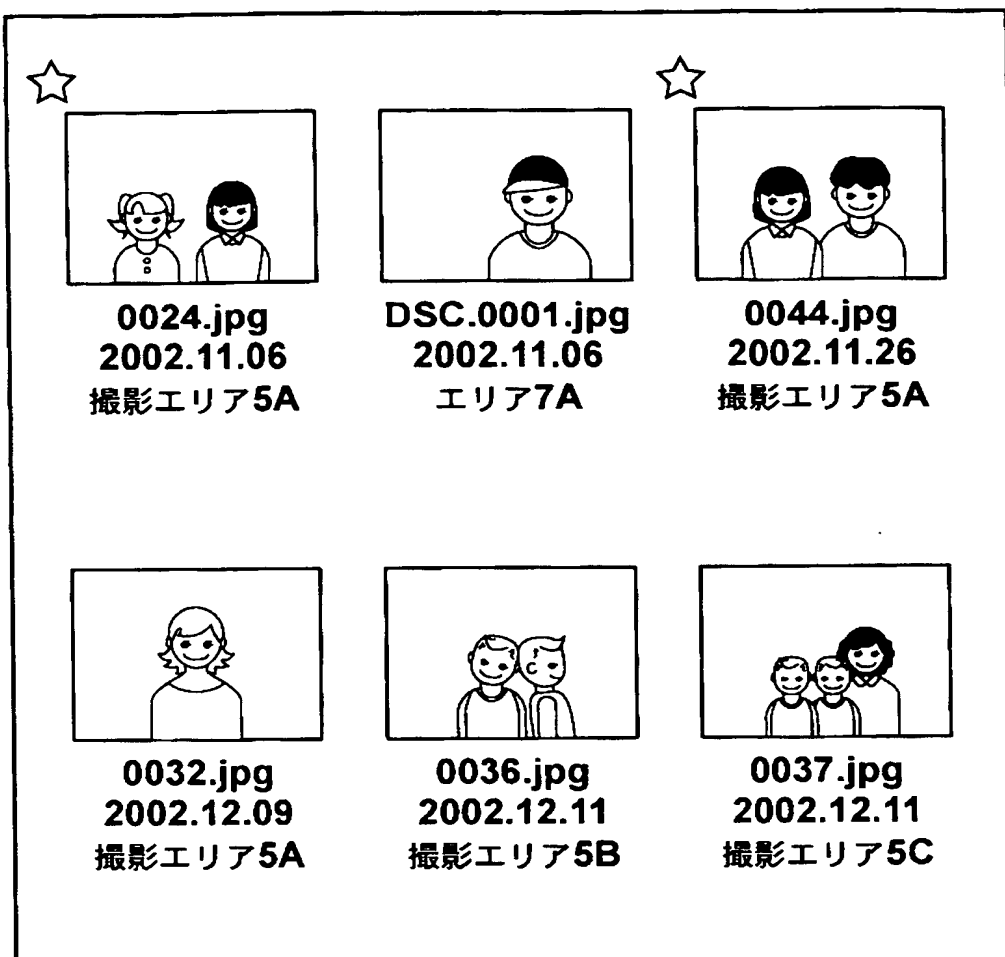
【図 11】



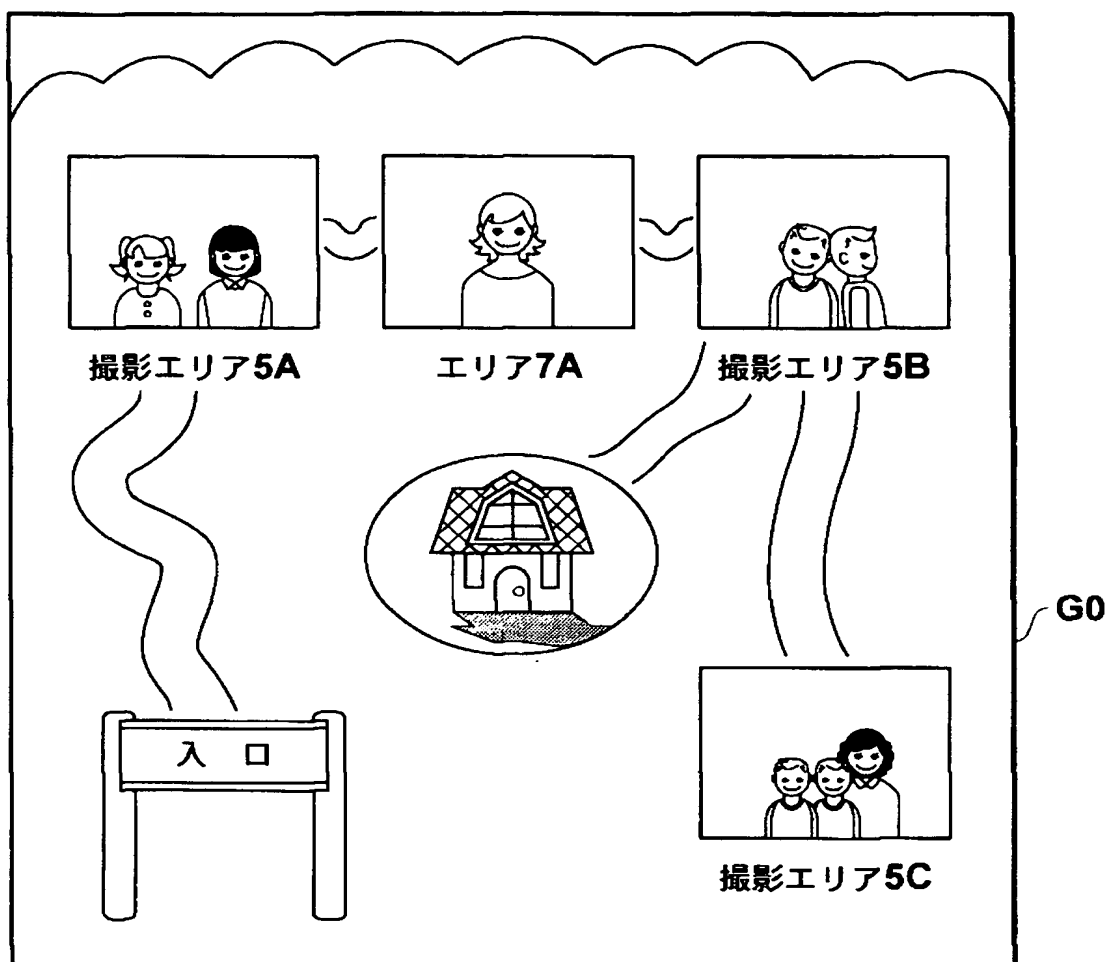
【図 12】



【図 13】



【図 14】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 テーマパーク等の施設への入場者が自身の撮像装置により取得した画像データを、施設内のカメラが取得した画像データと同じように管理する。

【解決手段】 テーマパーク内の撮影システム 1 A, 1 B, 1 C において被写体ユーザ U 0 を撮影して第 1 の画像データ S 1 を取得する。この際、被写体ユーザ U 0 が所持する無線タグ 3 0 からユーザ I D を取得し、これと第 1 の画像データ S 1 とを関連付けて画像保管サーバ 4 に保管する。被写体ユーザ U 0 がデジタルカメラ 1 0 により取得した第 2 の画像データ S 2 もユーザ I D と関連付けて画像保管サーバ 4 に保管する。画像保管サーバ 4 は、ユーザ I D により第 1 および第 2 の画像データ S 1, S 2 を分類して保管する。

【選択図】 図 1

認定・付加情報

特許出願の番号	特願 2 0 0 3 - 0 4 6 0 1 9
受付番号	5 0 3 0 0 2 9 2 6 8 8
書類名	特許願
担当官	第六担当上席 0 0 9 5
作成日	平成 1 5 年 2 月 2 5 日

< 認定情報・付加情報 >

【提出日】 平成15年 2月24日

【特許出願人】

【識別番号】 000005201

【住所又は居所】 神奈川県南足柄市中沼 2 1 0 番地

【氏名又は名称】 富士写真フイルム株式会社

【代理人】 申請人

【識別番号】 100073184

【住所又は居所】 神奈川県横浜市港北区新横浜 3 - 1 8 - 3 新横浜 K S ビル 7 階

【氏名又は名称】 柳田 征史

【選任した代理人】

【識別番号】 100090468

【住所又は居所】 神奈川県横浜市港北区新横浜 3 - 1 8 - 3 新横浜 K S ビル 7 階

【氏名又は名称】 佐久間 剛

次頁無

特願 2 0 0 3 - 0 4 6 0 1 9

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[0 0 0 0 0 5 2 0 1]

1. 変更年月日

1 9 9 0 年 8 月 1 4 日

[変更理由]

新規登録

住 所

神奈川県南足柄市中沼 2 1 0 番地

氏 名

富士写真フイルム株式会社